



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 フタバ産業株式会社

コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐々木 康夫

TEL 0564-31-2211

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	189,705	16.6	500	—	△572	—	△1,745	—
24年3月期第2四半期	162,749	△14.2	△468	—	△1,961	—	△3,251	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △2,409百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △3,886百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△24.95	—
24年3月期第2四半期	△46.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第2四半期	210,076		45,987		15.8
24年3月期	221,798		48,397		16.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 33,109百万円 24年3月期 35,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の配当につきましては、未定としております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	356,800	△4.1	100	△96.2	△1,500	—	△3,300	—	△47.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	70,049,627 株	24年3月期	70,049,627 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	94,671 株	24年3月期	94,219 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	69,955,244 株	24年3月期2Q	69,956,278 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政金融不安に伴い、減速感が広がっております。また、景気拡大が続いてきた中国、インドを始めとした新興国においても景気の拡大テンポが弱まってきており、総じて厳しい状況にあります。

国内経済は、復興需要が引き続き継続しておりますが、円高の影響や世界経済の減速懸念等もあり、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、グローバルレベルで見れば、北米において回復の兆しが見えるものの、欧州においては依然として低迷しております。また、中国においては先行き不安が高まってまいりました。一方で、国内市場においては、東日本大震災からの復旧の進展やエコカー補助金等の政策効果もあり、順調に推移してまいりました。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進、サプライチェーンの見直し及び物流費の低減などの収益改善活動等に積極的に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、各カーメーカーの増産の影響により、売上高は1,897億円(前年同四半期比16.6%増)となり、営業利益は5億円(前年同四半期は4億円の営業損失)、経常損失は5億円(前年同四半期は19億円の経常損失)、四半期純損失は17億円(前年同四半期は32億円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は東日本大震災からの復旧の進展やエコカー補助金等の政策効果もあって、各カーメーカーの増産の影響により、1,290億円(前年同四半期比16.3%増)となりました。セグメント利益は4億円(前年同四半期は18億円のセグメント損失)となりました。

②北米

売上高は275億円(前年同四半期比61.3%増)となりました。セグメント損失は10億円(前年同四半期は10億円のセグメント損失)となりました。

③欧州

売上高は102億円(前年同四半期比17.0%減)となりました。セグメント損失は3億円(前年同四半期は1億円のセグメント利益)となりました。

④アジア

売上高は294億円(前年同四半期比10.5%増)となりました。セグメント利益は12億円(前年同四半期比40.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、現金及び預金等の増加はありましたが、売上債権、有形固定資産及び投資有価証券等の減少等により、前連結会計年度末に比べて117億円減少し、2,100億円となりました。負債については、1年内返済予定の長期借入金の返済及び長期借入金の借入はありましたが、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて93億円減少し、1,640億円となりました。純資産については、四半期純損失の計上及びその他有価証券評価差額金の減少等があり、前連結会計年度末に比べて24億円減少し、459億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、取り巻く環境の悪化の影響も踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、当第2四半期連結会計期間において通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の業績予想の修正に関するお知らせをご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産(ただし、金型を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ150百万円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,613	18,003
受取手形及び売掛金	49,860	42,838
製品	3,923	3,872
仕掛品	7,651	9,093
原材料及び貯蔵品	3,787	3,401
繰延税金資産	6	3
その他	10,145	7,575
貸倒引当金	△87	△74
流動資産合計	91,900	84,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,103	27,465
機械装置及び運搬具（純額）	46,235	42,428
工具、器具及び備品（純額）	3,818	3,915
土地	15,040	14,989
リース資産（純額）	4,206	4,966
建設仮勘定	8,289	9,552
有形固定資産合計	105,692	103,317
無形固定資産		
投資その他の資産	1,096	1,218
投資有価証券	18,207	15,907
長期貸付金	2,028	2,016
繰延税金資産	663	619
その他	4,914	4,728
貸倒引当金	△2,706	△2,444
投資その他の資産合計	23,108	20,827
固定資産合計	129,897	125,363
資産合計	221,798	210,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,247	46,213
短期借入金	36,969	32,927
1年内返済予定の長期借入金	25,940	11,321
リース債務	4,022	4,178
未払法人税等	1,013	418
未払消費税等	639	598
リコール損失引当金	130	64
未払費用	7,316	7,061
その他	4,610	4,429
流動負債合計	135,890	107,212
固定負債		
長期借入金	18,912	38,321
リース債務	1,226	1,555
繰延税金負債	7,230	6,637
退職給付引当金	8,997	9,274
役員退職慰労引当金	82	76
製品保証引当金	383	383
資産除去債務	189	189
その他	489	437
固定負債合計	37,511	56,876
負債合計	173,401	164,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	12,382	10,413
利益剰余金	10,181	10,405
自己株式	△147	△147
株主資本合計	34,237	32,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,410	5,173
為替換算調整勘定	△4,650	△4,556
その他の包括利益累計額合計	1,760	617
少数株主持分	12,399	12,877
純資産合計	48,397	45,987
負債純資産合計	221,798	210,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	162,749	189,705
売上原価	155,347	180,621
売上総利益	7,402	9,083
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,768	3,218
給料手当及び賞与	2,261	2,293
退職給付費用	100	88
役員賞与引当金繰入額	15	—
役員退職慰労引当金繰入額	15	12
法定福利及び厚生費	309	304
租税公課	217	297
減価償却費	301	394
その他	1,882	1,974
販売費及び一般管理費合計	7,870	8,583
営業利益又は営業損失(△)	△468	500
営業外収益		
受取利息	113	151
受取配当金	178	169
作業くず売却益	143	141
持分法による投資利益	419	—
デリバティブ評価益	26	10
雑収入	498	249
営業外収益合計	1,379	722
営業外費用		
支払利息	826	693
持分法による投資損失	—	51
為替差損	1,419	381
雑損失	627	668
営業外費用合計	2,872	1,795
経常損失(△)	△1,961	△572
特別損失		
投資有価証券評価損	—	373
特別損失合計	—	373
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,961	△946
法人税等	795	467
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,757	△1,413
少数株主利益	494	331
四半期純損失(△)	△3,251	△1,745

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,757	△1,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,481	△1,236
為替換算調整勘定	276	129
持分法適用会社に対する持分相当額	75	110
その他の包括利益合計	△1,129	△996
四半期包括利益	△3,886	△2,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,488	△2,888
少数株主に係る四半期包括利益	602	478

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	106,704	17,102	12,408	26,534	162,749	—	162,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,276	0	0	123	4,400	△4,400	—
計	110,981	17,102	12,408	26,658	167,150	△4,400	162,749
セグメント利益又は損失(△)	△1,801	△1,077	111	2,173	△593	124	△468

(注) 1 セグメント利益の調整額124百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	122,502	27,578	10,294	29,330	189,705	—	189,705
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,549	—	0	119	6,668	△6,668	—
計	129,051	27,578	10,294	29,449	196,374	△6,668	189,705
セグメント利益又は損失(△)	468	△1,068	△364	1,289	325	174	500

(注) 1 セグメント利益の調整額174百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月24日の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議いたしました。

1 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

資本準備金の額を減少し剰余金の処分を行うことによって、繰越利益剰余金の欠損を填補するもの。

2 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少しその他資本剰余金に振替えるもの。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

3 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補するもの。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 1,969百万円

4 資本準備金の額の減少及び剰余金の効力の発生日

(1) 取締役会決議日 平成24年5月24日

(2) 効力発生日 平成24年5月24日

平成25年3月期 第2四半期 決算参考資料

【連結】

1. 当第2四半期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当第2四半期 (H24.4~H24.9)		前年同四半期 (H23.4~H23.9)		増減	増減率	通期予想 (H24.4~H25.3)		対前期	
	(100.0%)		(100.0%)				増減	増減率		
売上高	(100.0%)	189,705	(100.0%)	162,749	26,955	16.6%	(100.0%)	356,800	△ 15,283	△4.1%
営業利益	(0.3%)	500	(△0.3%)	△ 468	969	-	(0.0%)	100	△ 2,530	△96.2%
経常利益	(△0.3%)	△ 572	(△1.2%)	△ 1,961	1,389	-	(△0.4%)	△ 1,500	△ 1,835	-
四半期純利益	(△0.9%)	△ 1,745	(△2.0%)	△ 3,251	1,506	-	(△0.9%)	△ 3,300	1,221	-
一株当たり純利益		△24円95銭		△46円48銭				△47円17銭		
設備投資		7,617		5,561	2,056	37.0%		25,000	11,619	86.8%
減価償却費		10,080		11,229	△ 1,148	△10.2%		20,000	△ 1,891	△8.6%

(注) ()内は売上高比率を表示

2. 営業利益増減要因(対前年同期比)

(単位: 億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
売上増による利益の増	14	製品構成の変動等による影響	19
減価償却費の減	11	作業屑売却高の減	2
労務費の減	8	経費の増他	3
計	33	計	24
差引	営業利益の増	(△4 → 5)	9

3. セグメント別業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当第2四半期 (H24.4~H24.9)		前年同四半期 (H23.4~H23.9)		増減	増減率	
		構成比		構成比			
売上高	日本	129,051	68.0%	110,981	68.2%	18,070	16.3%
	北米	27,578	14.5%	17,102	10.5%	10,476	61.3%
	欧州	10,294	5.5%	12,408	7.6%	△ 2,114	△17.0%
	アジア	29,449	15.5%	26,658	16.4%	2,791	10.5%
	消去	△ 6,668	△3.5%	△ 4,400	△2.7%	△ 2,268	-
	計	189,705	100.0%	162,749	100.0%	26,955	16.6%
営業利益	日本	468	93.6%	△ 1,801	-	2,269	-
	北米	△ 1,068	△213.5%	△ 1,077	-	9	-
	欧州	△ 364	△72.8%	111	-	△ 475	-
	アジア	1,289	257.8%	2,173	-	△ 884	△40.7%
	消去	174	34.9%	124	-	50	40.3%
	計	500	100.0%	△ 468	-	969	-

【個別】

1. 当第2四半期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当第2四半期 (H24.4~H24.9)		前年同四半期 (H23.4~H23.9)		増減	増減率
	(100.0%)		(100.0%)			
売上高	(100.0%)	128,001	(100.0%)	109,810	18,190	16.6%
営業利益	(0.5%)	641	(△1.2%)	△ 1,355	1,997	-
経常利益	(0.1%)	149	(△1.7%)	△ 1,903	2,053	-
四半期純利益	(△0.2%)	△ 271	(△1.8%)	△ 1,933	1,662	-
設備投資		5,628		3,423	2,204	64.4%
減価償却費		5,869		6,527	△ 657	△10.1%

(注) ()内は売上高比率を表示